

## 自然の中で遊びましょう🌸

若葉を渡る風が清々しい今日この頃です。

先週は、幼保の園児は親子遠足で森林公園に出かけました。久しぶりにクラス単位で集まって一緒にお弁当を食べたのですが、園児も保護者もみんな笑顔で、マスクのない素顔にぐっと親近感を覚えました。食事の後は、マスクを付けて(^.^。)、自然散策や芝生の上を走ったり寝転がったり・・・一面に生えたシロツメクサでブレスレットや冠づくりを楽しむ園児と先生を見守る保護者の方々のまなざしも優しくて、とても楽しい遠足でした。

さて、ぽぼらの5月の計画には、環境講座やジャガイモ掘りなど、自然とのかかわりが楽しめる活動が入っています。毎回、好評ですが、土や雑草にじかに触れて、感触や匂い、その形等々、親子一緒に楽しんでほしいと思います。子どもが感じたことを言葉で表現できることは、満足感や達成感に繋がり、園外活動が大好きになるきっかけになります。

「はるかぜさんぽ」「おひさまおねがいちゃんぷい」など、小さな子が喜びそうな絵本も役に立ちそうです。今月は中村理美先生の記事にも、絵本が紹介されています。併せてお読みください。

(三光保育園長)

永原学園地域子育て支援センター  
さんこう・ぽぼらだより  
令和5年5月発行 第193号  
認定こども園西九州大学附属 三光保育園  
TEL:0952-31-6877

### 5月の生活目標

- 「生活のリズムを整えましょう」
- ♪決まった時間に食事をする
- ♪早起きを心がける

### ♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

(平日の9:30~17:00まで)

※毎月第3火曜日の14時~16時までは、西九大短大部教員による、食育相談を行っています。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。



### ☆親子で楽しくじゃがいもほり体験しませんか!

★日時 ①5月24日(水)10:00~12:00 ②5月25日(木)10:00~12:00

内容:じゃがいも掘りの体験 (対象:2歳以上)

場所:佐賀市金立公民館駐車場(現地集合・現地解散)

持ってくるもの:帽子、手袋(軍手)、シャベル、おしぼり、お茶、おやつ、着替えなど

※掘ったじゃがいもは買い取れますので、小銭と袋を準備して下さい。

### ☆5月・6月の講座について

5月15日(月)・・・環境講座「アロマの虫よけスプレーづくりとSDGs」(先着10組:材料費800円)

6月13日(火)・・・リフレッシュ講座「ストレッチ」(先着10組)

6月15日(木)・・・ベビーマッサージ講座(先着5組)(対象:2か月~12か月)

### ☆6月の「子育て支援事業」のお知らせ

6月9日(金)・・・赤ちゃんの日(ベビーダンス)(先着10組)

6月19日(月)・・・なかよしミックス(絵本)(先着10組)

※上記の子育て支援事業は、事前に電話での申し込みが必要です。

5月分の申し込みは、5月1日から受付けます。6月分は、6月1日からです。

★様々な状況により計画の変更や中止が予想されるため、お出かけの前に必ず、ホームページで支援事業の有無をチェックしてください。子育て支援のラインアカウントがありますので、ライン登録をしていただくのが、一番お勧めです。



### ☆いよいよ6月から「なかよし2歳」

「なかよし1歳」が始まります。

6月5日(月)・・・なかよし2歳

6月6日(火)・6月8日(木)・・・1歳の日

1年間、よろしくお祈りします♪

### ☆5月・6月の「フリーデー」について

保育園の支援センターを開放します。

※事前の予約はいりません

日時: 5月9日(火)・10日(水)・12日(金)

6月20日(火)・21日(水)・22日(木)

「シニアサロンぽぼら」・・・月に一回、地域の方にお越しいただき楽しいひと時をすごしています。

おしゃべりやモノづくりを楽しみませんか?

5月30日(火)・6月12日(月)

子育て便り

子どもと読む「優しい」絵本の時間

西九州大学 子ども学部 子ども学科  
講師 中村理美

前回執筆した平成30年6月号では、“大人が読む「優しい」絵本の時間”というタイトルで、2冊の絵本をご紹介しました。今回は、“子どもと読む「優しい」絵本の時間”ということで、3冊の絵本をご紹介します。

保護者や保育士の先生方から、子どもたちに「障害」や「違い」についてどのように説明したらよいのか…。という相談を受けることがあります。子どもにとっても、説明する大人にとっても難しい内容です。

子どもたちは、障害のある人を「障害者」という概念で捉えているのではなく、行動パターンの違いや外見の違い、学習形態の違い、子どもたちが敏感に感じ取る能力の違い、保育者の対応や扱いの違いなどから、なにかしら「差異」がある人と捉えています。

障害についての正確な知識や、適切な認識を持つためには、それを目的とした教育が必要です。幼児期・児童期においては、その「差異」に気付いたことを尊重しながら、子どもたちの発達段階に応じて理解できるように、目の前にいる子どものありのままを、わかりやすい言葉で伝えていくこと、出来ないことや困難なことだけを伝えるのではなく、できることこうすればできるよという具体的な話をするのが大切です。

まずは、このような絵本と一緒に読むことを通して、「差異」に気づいた子どもたちと「ちがいがい」や「おなじ」について考える際のきっかけにさせていただけたらいいなと思います。



『ねずみくんのきもち』

ポプラ社 (2007年) 作：なかえよしを、絵：上野紀子

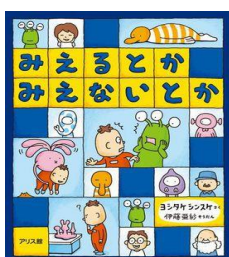
助け合って生きることや、思いやり、お互いに違うものを持っていることの素晴らしさについて考えるきっかけとなる絵本です。



『すきなことがてなこと』

くもん出版 (2021年) 作：新井洋行、絵：嶽まいこ

自分の好きなことが苦手な人、自分の苦手なことが好きな人。誰もが持つ、好きと苦手気づくきっかけとなる絵本です。



『みえるとかみえないとか』

アリス館 (2018年) 作：ヨシタケシンスケ

「そもそも ぼくたちは みんな ちょっとずつちがう。」  
同じところ、違うところについて楽しく考えることができる絵本です。